

政策	71 市民と行政の協働と情報共有化の推進								
区分	妥当性		妥当	コスト削減の余地		有	受益者負担		適正
	上位貢献度		有効	類似事業の有無		無	成果向上の余地		有
対象	市民全般								
基本 施策 目的	・ 一体感のある栃木市の創出を念頭に、地域の特性に応じた市民によるまちづくりを推進する。 ・ 市民活動や地域活動を支える市民団体・コミュニティ組織への支援、適切な市民参画機会の確保、市民と行政との情報の共有化などを図る。								
成果 指標	①住民参加の満足度 ②行政情報の満足度								
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	成果指標 1 [%]	予定					70.00		
		実績							
	成果指標 2 [%]	予定					70.00		
		実績							
	成果指標 3 []	予定							
		実績							
	成果指標 4 []	予定							
		実績							
トータルコスト (千円)	予定	846,214				0	0		
	実績	806,724				0	0		
内 部 評 価	貢献度		基本方針が目指す姿である「一体感の創出」や市民と行政が共に考え共に築いていくまちづくりを進める上で、本基本施策の目標の達成は大きく貢献するものである。						
	達成状況		市民満足度を図る調査は、平成28年度に実施予定である。また、行政情報の満足度についての調査は、平成26年度に実施予定である。						
	課題		各課が実施している事業での委員等の女性の割合は、規定を満たしておらず庁内での温度差も見られる。						
	取組方針		審議会等の女性の比率を高め男女格差の解消を図るとともに、各地域間での市民参加の機会を高めるため、新たな地域自治制度を進め、下位単位施策の実績向上を図る。						
外 部 評 価	議会の常任委員会を各地域で実施したり、全市的なスポーツイベントを開催したりと、市民の一体感を図る取り組みが進められていることは評価したい。 しかし、まだ各地域へのこだわりが強く残っていると感じられるため、今後は更に市民の一体感を深める施策展開を期待する。一例として、市内の各祭り等は、市民の意識の共有を図るためにはとても効果的であると思われるので、有効活用すべきと考える。 さらに、市のマスコットキャラクター「とち介」をメインとしたとち介まつりの開催なども検討されたい。 本市において、主体的な市民活動団体は確実に増えていると思われ、今後も引き続き団体等の育成並びに支援を行い、さらには団体と行政との一体的なネットワークを構築することで、情報の共有化を図られたい。								
基本 施策 達成 の た め の 単 位 施 策	施策コード	名 称					トータルコスト(千円)	達成度	
	7101	地域自治の仕組みづくり					28,236	100	
	7103	市民活動の推進					98,422	100	
	7104	市民参画の充実					523,145	100	
	7105	情報共有化の推進					81,721	99	
	7102	身近なまちづくりの推進					75,200	74	